



YMCA

月刊 TheYMCA 付録
編集-発行 / 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7番地
大阪青年 発行: 錦織一郎 編集: 大阪YMCA広報室
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6
TEL:06-6441-0894 FAX:06-6445-0297
URL: http://www.osakaymca.or.jp/
(年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

大阪青年

2004

Sep. 9

No. 565

2004年度大阪YMCA年間聖句
「強く生きなさい。何事も愛をもって行いなさい。」(コリントの信徒への手紙 16章13-14節)

大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

ボランティア精神を高く、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。

すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。

世界の人びとと力を合わせ、環境、人類、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

特別寄稿

大阪YMCAに寄せて

大阪YMCA・賛助会会長 山口 集



未来を築く青少年を支援 平和で心豊かな市民社会を志して

私が大阪YMCA・賛助会会長に就任して1年が経ちましたが、率直な印象は、大阪YMCAには本当に大勢の人が関わっており、使命に向かって活動している」ということです。協力会員・維持会員、ボランティアメンバーに学校・幼稚園の在籍者、更にプログラム参加者を加えると優に2万人を超

えることとなります。キリスト教精神を基盤とした社会奉仕の団体として理解するならば、公益法人・NPO法人の数ある中で群を抜いた存在であり、その社会的影響も計り知れない広い範囲に及んでいるものと思えます。

特に未来を築く青少年を支援する事業として、ウエルネス事業・学校事業・幼稚園事業の保有する数々の施設が有効に活用され、健全な心と身体バランスの取れた青少年育成や、家庭・地域社会で失われつつある人間関係の回復を目指し、種々の活動体験の場を提供できているのは、YMCAの総合的な力であると断言することができます。

私は永い企業生活の中で生産販売の現場から始まって海外での工場建設と会社の経営に至る迄の経験から全てのことは「人」次第と信じています。若い人が自立心をもって、健全な社会人になっていく機会を提供するのは我々の義務であると考えます。幼稚園・学校での集団生活・知識教育も必要ですが、同時に家庭を離れて若い人たちが寝食を共にする集団生活を体験することが重要ではないでしょうか。

全てのことは「人」次第

「人」次第と信じています。若い人が自立心をもって、健全な社会人になっていく機会を提供するのは我々の義務であると考えます。幼稚園・学校での集団生活・知識教育も必要ですが、同時に家庭を離れて若い人たちが寝食を共にする集団生活を体験することが重要ではないでしょうか。

日本の近代産業の誕生と軌を同じくし、YMCAはキリスト者の偉大な先達によって日本各地に設立されました。120年以上、産業界もYMCAも心豊かに生きる社会を志し、事業を展開してきました。しかし、わが国の経済はここ10年間で1千兆円の富を失いました。またグローバル化の流れの中で大きな社会変化が起き、私たちはその影響を大きく受けています。日本だけでなく世界の子どもたちや若者が自分たちの未来に夢を持って歩んでいくためには、YMCAだけでなく企業も平和で心豊かな市民社会をつくりあげていくことが求められており、互いの社会的責任を果たし、公益性のある活動展開を協働のミッションとすべきだと感じます。そして、このことが未来を築く大きな力となると信じています。

日々の活動の中で自分の果たすべき役割や人間生活のルールを体験的に学び、仲間と共に自立精神を涵養して欲しいのです。

日本の近代産業の誕生と軌を同じくし、YMCAはキリスト者の偉大な先達によって日本各地に設立されました。120年以上、産業界もYMCAも心豊かに生きる社会を志し、事業を展開してきました。しかし、わが国の経済はここ10年間で1千兆円の富を失いました。またグローバル化の流れの中で大きな社会変化が起き、私たちはその影響を大きく受けています。日本だけでなく世界の子どもたちや若者が自分たちの未来に夢を持って歩んでいくためには、YMCAだけでなく企業も平和で心豊かな市民社会をつくりあげていくことが求められており、互いの社会的責任を果たし、公益性のある活動展開を協働のミッションとすべきだと感じます。そして、このことが未来を築く大きな力となると信じています。

地の塩

桃ぶどう、ネクタリン、柑橘類、りんご、秋の深まりとともに果物の主人公も変わっていく。旧約聖書創世記にはエデンの園の中央に生えた禁断の木の実について記されている。この実はどのような果物だったのでしょうか。いずれにせよこの実は、「いかにもおいしそうで、目をひきつけ、賢くなるように唆していた」(創世記3:6)。おいしく、人の目を惹き、スマートであることは今日においても私たちの中心的な価値観となつてはいないだろうか。

おいしく、目を惹き、賢くなることについての情報が氾濫するなかで青年の多くが自分の拠って立つところを見出すことができず、思い悩み、心を乱し、漂っている。現代においてITといわれるものが私たちを唆す。イエスがある姉妹の家を尋ねた時の話。一心にイエスの言葉を聴こうとする妹マリア、イエスをもてなす忙しさに思い悩み心を乱す姉マルタ。イエスはマルタに「必要なことはただ一つだけである」と語りかける。私たちは日常の生活において、体裁を整えることだけに気をとられ、美しく取り繕われた形に惹きつけられ、より成果が上がることを重んじるあまり、本当に必要なことを見落としてしまつ。秋の深まるべき、しかし、本当に必要なことはただ一つだけである。(ルカ福音書10:42)とのイエスのことばに思いめぐらされたい。(和)

山口 集